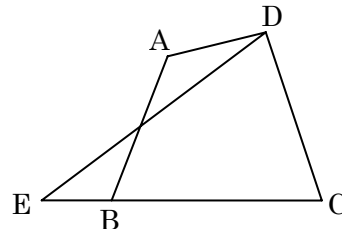
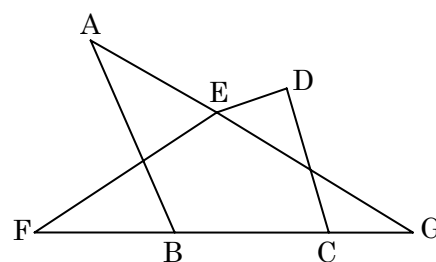


評価問題例

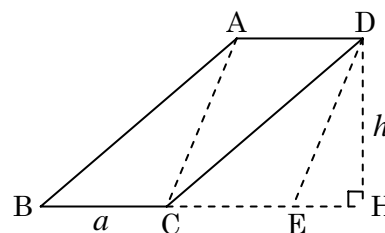
- 1 右図の四角形 ABCD で、辺 BC を延長した直線上に点 E をとる。△CDE の面積が四角形 ABCD の面積と等しくなるように、点 E の位置を決めなさい。



- 2 右図の図形 ABCDE で、辺 BC を延長した直線上に点 F、G をとる。△EFG の面積が図形 ABCDE の面積と等しくなるように、点 F、G の位置を決めなさい。



- 3 右図の平行四辺形 ABCD の面積 S が、
 $S = ah$
となるわけを説明しなさい。



評価問題のポイント

[HOME](#)

[本時の流れへ](#)

[単元の流れへ](#)

等積変形では、平行線と面積の関係を理解することが大切である。小学校で平行四辺形、三角形や台形などの面積の公式を導いたときのように、パズル的な要素が少なからず含まれているので、形が異なる図形での考察が必要である。

1の問題については、本時の課題①と同様の問題であるが、辺 BC を B 側に延長する場合であり、生徒が戸惑う場合がある。点 A の位置を点 E に重ねると△ABD の面積は変わるが、△BCD の面積が変わらないことに気付かせることが大切である。

2の問題については、凹五角形の場合である。へこみのない五角形と同様に等積変形を 2 回行えばよいことを理解させたい。ノートに適当な多角形を書き、六角形、七角形・・・の場合でも等積変形が可能か拡張させて、考えさせることが大切である。

3の問題については、本時の課題③と同様に、平行四辺形を三角形に等積変形して面積を求めさせる。演繹的な論証を身に付けるためには、明確な根拠を基に説明させる場面が必要である。